

## 祝辞

こんには。

九州ラグビーフットボール協会の会長を務めさせていただいております、森重隆です。

このたびは、大分上野丘高等学校ラグビー部が、創部七十周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

大分上野丘高等学校ラグビー部は、昭和二十二年の創部以来、県大会における数多の優勝をはじめ、花園、国体にも出場され、好成績をあげられてこられました。これは選手の皆様はもとよりのこと、歴代監督やコーチ、家族、OBの方々など、多くの人々の「和」の賜と深く敬意を表します。

私も高校時代に初めてラグビーと出会い、十五人という最も多人数のスポーツを通じて培った「和」の精神は、今も私の血となつて脈々と流れづけています。

ラグビーという競技は、人生に必要な貢献、団結等を育んでくれます。特に学生時代のラグビーは、闘う野生と、人としてのマナー、思いやり、その時々汗と涙の結晶を通して、一生の仲間を得る、一生に一度の出逢いの場です。

高校ラグビーの周りの人々を感動させる魅力は高校ラグビーならではの素晴らしい魅力であります。特にその魅力の第一は、なんといってもアシスト（貢献）。勝利者も得点王もすばらしいですが、アシスト出来る人間が最高です。高校時代に培い、ラグビーを通して得た仲間とそして強い精神力で、これから、前に前に向かって、社会に貢献して行って下さい。

最後に、大分上野丘高等学校ラグビー部の益々のご発展を祈念するとともに、皆様方が次代のラグーマンをこれから多く世の中に送り出していただけることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

九州ラグビーフットボール協会

会長



平成二十九年一月二日